

もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



月刊アフリカニュース

2014年 8月 15日

No. 18

目次

ページ

特別ニュース

2014年8月 「US—アフリカ指導者サミット」	1
ガボン国月報	4
タンザニア国月報	5
南アフリカ国月報	6
モザンビーク国月報	7
ルワンダ国月報	8

特別ニュース

2014年8月 「US・アフリカ指導者サミット」 関連ニュース

2014年8月4日—6日にワシントンにおいて、アメリカ政府主催の「US・アフリカ指導者サミット」が開催されました。いくつかのニュースと関連資料を紹介いたします。

1. REMARKS BY THE PRESIDENT AT THE U. S. -AFRICA BUSINESS FORUM

US—アフリカのビジネスフォーラムにおけるオバマ大統領のスピーチ (8月5日)

「要旨」米国はアフリカの資源のみに注目している訳ではなく、アフリカの人々、その才能と可能性を評価している。アフリカとの本当のパートナーシップを築き、雇用と成長機会を作り、アフリカの次の大いなる発展に貢献したいと願っている。アメリカの企業はクリーンエネルギー、航空、銀行、建設の分野でアフリカに新たに140億ドル以上をコミットした。

アフリカとの貿易をさらに増大するために4つの政策を進めることにする。

- ① 新しいAGOAを導入、
- ② 米国の輸出を後押しするために70億ドルの資金の提供、

- ③ アフリカの電力インフラの建設、
- ④ アフリカ諸国間の貿易振興への支援、
- ⑤ アフリカの次世代の企業家を育てるための支援。

資金も大切であるが、それよりも法の順守、各種規制の見直し、良いガバナンスが貿易の増進に大切なことを強調したい。多くのアフリカ人は農業に従事しているわけであり、アフリカ人の所得の増加には農業の発展は必須である。保健医療関連のインフラ、特に母親と子供のための保健医療のインフラは、アフリカの発展の基本である。さらに、本会合で、平和と治安について議論を進めたい。

<http://allafrica.com/stories/201408060058.html?viewall=1>

2. Commerce Secretary Pritzker、商務長官のスピーチ、(8月5日)

「要旨」 商務省と米国貿易開発庁は 2020 年までに 10 貿易使節団を出し、アフリカ側も同じく 10 貿易使節団を出すことに合意した。また、米国企業がアフリカ市場、金融、可能性のあるプロジェクト、現地のコンタクト、資源等の情報を入手できる一つの統合窓口を開設した。www.trade.gov/dbia -である。アフリカはもはや眠れる巨人ではない、開かれた成長可能性のある市場である。

<http://allafrica.com/stories/201408051517.html?viewall=1>

3. Statement by the Chair of the U.S.-Africa Leaders Summit、(8月6日) 会議議長(オバマ大統領)の会議全体の議論の要約です。

「要旨」 次の5分野についての議論が詳細に記録されています。

- ① アフリカの未来への投資、新規貿易投資の増額、発電の容量の拡充等、
- ② 平和と地域の安定、アフリカ平和維持対応、安全保障ガバナンス等、
- ③ 次世代への施策、不正送金、腐敗防止のための行動計画等、
- ④ 女性の平和と繁栄のための投資、女性起業家の育成、女性の権利促進等、
- ⑤ 若者のための雇用と発展機会の提供等、
- ⑥ 最後にオバマ大統領は、本会議は今後繰り返され開催されるものと報告。

<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2014/08/06/statement-chair-us-africa-leaders-summit>

4. Africa Offers U.S. Firms a Compelling Trade and Investment Opportunity、 Sim Tshabalala、Chief Executive of the Standard Bank Group、「アフリカは米国企業に 魅力的な貿易と投資の機会を提供している」

「要旨」 アフリカとの貿易と投資は、非常に大きな見返りを与えてくれるが、正確な地域の知識、地域との強いパートナーシップと長期的な視野が必要である。

<http://allafrica.com/stories/201408051374.html>

5. What's the Game Plan for U.S.-Africa Summit? - Interview with Linda Thomas-Greenfield、「US-アフリカサミットの計画は何を含むのか」商務省アフリカ担当次官補とのインタビュー、

「要旨」多くの米国の企業がすでにアフリカで活動しており、米国企業のアフリカへの進出のみが、このサミットの目的ではなく、米国におけるアフリカへの興味を拡大したいと考えている。その一環として、アフリカの市民グループを招待して、ケリー国務長官主催で「市民社会フォーラム」を開催した。アフリカの市民社会、ディアスポラ、企業が参加した。サミットで議論される課題のすべてにおいて、今後市民社会の占める役割の重要性をわれわれは認識している。

<http://allafrica.com/stories/201407260092.html?viewall=1>

6. Lions go global: Deepening Africa's ties to the United States、「ライオンは世界を相手にする；深化するアフリカと米国との結びつき」マッケンゼー世界研究所、(2014年8月) サミットに向けて用意された資料。

「要旨」アフリカは援助を必要とする大陸から、可能性ある大陸となった。以下の事項についてデータと解説がある。

- ① アフリカの2000年以降の経済成長は東アジアに次いで高い、
- ② アフリカへの直接投資の利益率は、多くの新興市場より高い、
- ③ アフリカの貿易と資本の流入は、2012年ではGDPの82%に伸びている、
- ④ 自然資源の輸出はアフリカの総輸出の半分以下であり、製造業製品の輸出が伸びている、
- ⑤ アフリカへの投資分野の説明、
- ⑥ アフリカのglobal connectedness indexの説明、
- ⑦ 米国のアフリカとの貿易は2012年には、アフリカの総貿易の4%に過ぎない、
- ⑧ 米国のアフリカへの投資は、他の投資国と比較すると少ない。

http://www.mckinsey.com/insights/globalization/lions_go_global_deepening_africas_ties_to_the_united_states

7. THE AFRICA FORUM A DIALOGUE ON KEY ISSUES IN AFRICA、

「アフリカの重要政策についてアフリカフォーラムの提案」——本提案は「US-アフリカ指導者サミット」に先駆けて、以下の団体が用意したものである。“The Africa Forum,” - (FEEEDS Advocacy Initiative, Gallup Poll, The Africa Society of the National Summit on Africa, AllAfrica.com, and Operation Hope) と the Embassies and Ambassadors of Nigeria, Democratic Republic of the Congo, Botswana, and Tanzania.

(FEEEDSはFood Security, Education, Environment-Energy, Economics,

「要旨」以下の課題について提案がなされている。

- ① サブサハラ・アフリカの貿易と経済動向、

- ② ギャロップ社による“Africa Well Being Index の説明、
- ③ アフリカのエネルギー、中小企業支援、ディアスポラ、農業開発について、
- ④ アフリカの最近のガバナンスについて、
- ⑤ FEEDS と Operation Hope によるアフリカの青年の金融についての知識、

<http://allafrica.com/download/resource/main/main/idatcs/00090084:64f42ab45e61ffbd104bd37ebfdf6399.pdf>

ガボン国月報 (2014 年 7 月)

主な出来事

【内政】

- 14 日、新石油法が上院で可決され、成立した。
- 15 日、2014 年修正予算の成立、2 兆 9546 億 CFA (5 億ユーロ相当)
- 16 日、公務員に対する優遇手当の支払い開始。
- 19 日、2016 年大統領選挙に向けた野党連合「野党統一戦線」の結成。

【外政】

- 2 日、中国共産党全国代表大会幹部によるオナ・オンド首相表敬。
- 6 日、アラブ首長国連邦大統領のアリ・ボンゴ大統領との会談。
- ガボン政府及びアフリカ開発銀行による借款協定署名、ンデンデードウサラ間道路 (49 km) 舗装工事实施。
- ガボンによる「租税に関する相互行政支援に関する条約」署名 (OECD)。

【経済】

- 2013 年対ガボン外国直接投資額約 8 億 5600 万米ドル。
- 3 日、アリ・ボンゴ大統領によるポールジャンティ及びオンブレ住宅、道路建設訪問。
- 17 日、2014 年 GDP 予測成長率 5.1%、2013 の 5.6%から低下。
- 22-23 日、ングブ石油・炭化水素大臣は深海鉱区入札結果の公表。
- 24 日、パリ商工会議所はガボン商工会議所の機能強化・人材育成協力を 30 万ユーロの融資を発表。
- 米石油企業であるハーヴェスト・ナチュラル・リソース社は、ガボン国内のデュサフ・マリン鉱区の開発に再び乗り出す旨発表した。

http://www.ga.emb-japan.go.jp/pdf/gabon_geppo/gabon_geppo_072014.pdf

タンザニア国月報 (2014年7月上旬期)

主な出来事

- (1) 世銀、水セクター支援プロジェクト向け追加融資(4,490万米ドル)を承認。
- (2) Statoil/Exxon Mobil、タンザニア沖で新規ガス田発見。
- (3) ザンジバルで、海藻加工工場計画進行中、洗濯洗剤、化粧品及び食品の製造計画。
- (4) 第2回タンザニア石油ガス供給業者会議の開催、石油開発公社は、現在の「タ」ガス埋蔵量は50.5TCFに達した旨発言。
- (5) サムスン電子、タンザニア市場拡大に意欲、「タ」国内の電子機器市場のシェア30%達成を目標。
- (6) タンザニア製パティック、アンゴラ、モザンビークでも人気、他にEAC地域諸国、マラウイ及びスウェーデン、ドイツ等における需要が高い。
- (7) 政府、遠洋漁業向け漁港を建設予定。
- (8) タンザニア、EAC通貨統一議定書の批准を国会承認。
- (9) 中国国家副主席170名の中国企業一行と共にタンザニアを訪問、中タビジネスフォームには中国企業100社及びタンザニア企業120社が出席、中国は現在までにタンザニア投資センター(TIC)に総額約24億シリング相当、522事業を登録、77,335名の雇用が期待される。
- (10) タンザニア電力供給公社(TANESCO)の事業構造改革案を承認、TANESCOの3事業体(電力供給、送電、配電)への分離等を含む同事業の実施に2017年までに19億シリングが投入される。
- (11) UNCTAD、世界投資報告書2014年を発表、2013年の対タンザニア直接投資(FDI流入)額は、EAC域内諸国で最も高い18億7,240万米ドル。
- (12) トルコの企業進出急増、トルコ・タンザニア商工会議所のエリスティ議長は、タ建設業及び農業分野への関心がトルコ企業の間で高まっている旨説明。
- (13) 新付加価値税法の実施、2015年まで延期。

<http://www.tz.emb-japan.go.jp/tanzania/news/2014062h.htm>

タンザニア国月報 (2014年7月下半期)

主な出来事

- (1) 一県一品プロジェクト、開始以来1,037の中小零細製造工場が設置され7,024人の雇用を創出。
- (2) 英ビジネス調査企業ビジネス・モニター・インターナショナルは、2018年までにタンザニアにおける鉱物産業の多様化が予想される旨発表。
- (3) 第2次航空地質調査、12月に実施予定、調査地域はカタビ州、ルクワ州、リンディ州、ムトワラ州及びルブマ州の一部を含む国内南部
- (4) 南部鉄道敷設で輸送量増大を狙う、キクウェテ大統領は、ムトワラ州ムトワラ港とルブマ州マンバ湾間を結ぶ鉄道の敷設について発言。
- (5) アフリカ開発銀行、対タンザニア直接融資を開始、10億米ドルがアフリカ可能。

- (6) タンザニア鉄道公社、インドから貨車 25 台を調達。
- (7) 全国高圧送電線網への民間企業供給元、ソンガス・IPTL のみ。
- (8) タンザニア、中国企業へ葉たばこ 1 万トン輸出。
- (9) モバイル決済、タンザニア GDP の 35%
- (10) タンザニア、2015 年の経済成長見通し 7.5%、2013 年の 7%、2014 年の 7.2%を上回る予想。
- (11) キゴマ-ブルンジ間の鉄道路線敷設、12 月に開始。

<http://www.tz.emb-japan.go.jp/tanzania/news/2014072h.htm>

南アフリカ国月報 (2014 年 7 月)

主な出来事

【内政】

- 1 日、NUMSA によるストライキ開始。
- 14 日、鉱物資源の地元利益還元に関する ANC と EFF 議員の意見の一致、ANC と EFF の議員は、「戦略的鉱物資源の生産者は、全生産高の少なくとも 20% の固定割合を、南ア国内における高付加価値化 (local beneficiation) のために割り当てるべきであり、同割合は時と共に増加するべきである」ことで一致。鉱山会社は「同法の戦略的鉱物資源の当該条項が、鉱業における投資を抑制する。」と強く反対している。
- 16 日、マンタシェ ANC 事務局長によるマレマ批判。
- 17 日、マレマ EFF 代表のラマポーザ副大統領批判、ラマポーザ副大統領と鉱業界の大物実業家であるモツェペ氏について、黒人を援助するのではなく、白人資本を守っていると非難した。
- 22 日、EFF によるハウテン州議会混乱。
- 23 日、予算案を巡る与野党審議。
- 28 日、NUMSA によるストライキ勝利宣言、NUMSA は二桁の賃金増加率を獲得し、不当にストライキを制限することを回避して、勝利宣言した。

【外交】

- 7-9 日、ラマポーザ副大統領のスリランカ訪問、今回の訪問は、南アが真実和解委員会を通じて学んだ教訓を共有すべく、スリランカ政府及びタミル国民連合 (TNA) からの招待を受けて実現された。
- 15-16 日、ズマ大統領の BRICS サミット出席、新開発銀行 (NDB) 設立協定の署名がなされた。NDB の本部は上海に決まり、南アでは NDB のアフリカ地域センターが設立される予定。
- 20 日、ズマ大統領によるイスラエル軍のガザ地区侵攻に対する非難
- 22 日、マシャバネ国際関係・協力大臣らによる議会予算演説、今後 50 年間の目標 (“ア

ジェンダ 63”) などについて述べた。本年後半に東京で開催予定の第 13 回日・南アパートナーシップ・フォーラムにつき言及した。

【経済】

- 経済指標：南ア政策金利の 5.5%から 5.75%への引上げ、5月の鉱業生産は前年比で 6.5%下落した 5月の製造業の生産は前年比 3.7%の下落となった 6月の CPI は前月比で 0.3%の上昇となり、前年比では 6.6%の上昇となった。IMF による南アの 2014 年 GDP 成長率見通しの 1.7%へ引き下げた。失業率は 2013 年第 4 四半期の 24.1%、2014 年第 1 四半期の 25.2%から、第 2 四半期には 25.5%へと増加し、3 四半期連続で増加していることが明らかになった。
- 財務大臣による財政演説、経済の低迷と公的債務の負荷の増大は、財政政策において持続可能性の確保の重要性を説明。
- 貿易産業省による自動車投資スキームのこれまでの成果の発表。
- EU と SADC 加盟国複数国間における経済連携協定（EPA）の妥結、南アフリカの主要な成果は、32 の農産品目について、EU 市場へのより大きなアクセスを勝ち得たことである。

http://www.za.emb-japan.go.jp/jp/downloads/SANews/July_2014.pdf

モザンビーク国月報 （2014 年 7 月）

主な出来事

【内政】

- 7 日、国家評議会が召集され、アントニオ・ムシャガレナモ報道官は評議会終了後に拘束。
- 9 日、ゲブーザ大統領、今期を持って大統領を退任する意向を明確に表明。
- 9 日、ゲブーザ大統領はアウグスト・パリノ検察庁長官を罷免しベアトリス・ブシリ氏を検察庁長官に登用。
- 28 日の第 66 回政府・レナモ間対話にて、基本文書の合意至り詳細部分調整を残すのみとなった。

【外交】

- 1 日、ゲブーザ大統領のポルトガル訪問、カヴァコ・シルヴァ大統領及びコエーリョ首相との会談を行った。ゲブーザ夫人も同行。大統領は、二国間協力が経済・投資分野のみに集中するのではなく、社会分野のみに集中するのではなく、社会分野における協力拡大も視野に入れていきたい旨表明し。
- 23 日、ゲブーザ大統領とバロイ外務協力大臣は東ティモールで開催された CPLP サミットに出席。
- フレリモのニュシ候補は、大統領として国際舞台でプレゼンスを示すため 22 日から 4 日

間の日程で米国を訪問。

【経済】

- 主要経済指標・為替レート（米貨）：インフレ率、金利、財政。
- 中国税関局の発表によると、中国・「モ」間の貿易額は計 7.17 億ドル（対前年比 22.62 増）である。
- 豪石炭会社 Rio Tinto 社は、子会社 RTCM 社が ベンガ炭鉱の採掘権および採掘プロジェクトを購入時の約 80 分の 1 の価格の価格（5,000 万米ドル）でインド政府系企業 International Coal Ventures Private Limited (ICVL) 社に売却。
- インフラセクター（港湾、道路公共交通）ニュース。
- 30 日、第 1 回日・モザンビーク官民合同対話の実施。日本企業 18 社が「モ」での関心事項を「モ」政府機関および 数十社の「モ」企業に発表した。

<http://www.mz.emb-japan.go.jp/1407.pdf>

ルワンダ国月報 （2014 年 7 月）

主な出来事

【内政】

- 4 日、ルワンダ解放 20 周年記念式典がキガリにて開催された。
大統領の記念演説の全文は、下記の URL で読むことが出来る・
- 23 日、カガメ大統領はムレケジ公共サービス・労働大臣を新首相に任命し、24 日、同首相は新内閣を発足した。
内閣改造の意味について、下記の URL] で読むことが出来ます。

【外政】

- 1 日～3 日まで、キガリにおいてルワンダ政府及び Women in Parliament (WIP) の共催で WIP2014 年サマーサミットが開催された。カガメ大統領及びノルウェー首相が MDG アドボカシー・グループ会合共同議長として参加、議会のジェンダーバランス、社会の変化の中でのジェンダーの役割、ジェンダー平等と女性エンパワーメントの法律制定とインパクト等について議論された。
- キガリで第 6 回北部回廊統一事業サミットが開催され、キガリ、ウガンダ、モンバサを結ぶ標準軌鉄道、また、キガリからカンパラを経由しエルドレットに繋がる地域石油パイプライン建設について議論がされた。
- 2 日、17 人の女性を含む 140 人の警察官がキガリ国際空港から国際連合ハイチ安定化ミッション (MINUSTAH) の下、ハイチで 1 年間の平和維持活動に従事するため派遣された。
- 21 日、韓国外務省、韓国行政能力研究所 (KIPA)、KOICA の支援により、全省庁の事務次官等に対する行政能力向上のための 3 日間のトレーニングが行われた。

【経済】

- 8 日、国連による 2,800 万米ドルの資金供与協定への署名。

- 9 日韓国のルワンダに対する 2,500 万米ドルの贈与協定への署名。
- 14 日、中国の服飾製造会社キガリの経済特区に工場建設。
- 23 日～8 月 6 日まで、ルワンダ国際貿易フェアが開催され、15 カ国から 330 の展示者が参加した。

http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda_news_2014.7.pdf